Creative Enzymes®

ネイティブ牛α-L-フコシダーゼ

Cat. No. NATE-0266

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、アルファ-L-フコシダーゼ（EC 3.2.1.51）は、次の化学反□を触媒する酵素です: アルファ-L-フコシド + H2O ↔ L-フコース + アルコール。したがって、この酵素の二つの基質はアルファ-L-フコシドとH2Oであり、二つの生成物はL-フコースとアルコールです。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にO-およびS-グリコシル化合物を加水分解するグリコシダーゼに分類されます。この酵素はn-グリカンの分解およびグリカン構造の分解に関与しています。
別名	α-L-フコシダーゼ; EC 3.2.1.51; α-フコシダーゼ

製品情報

種	ウシ
由来	牛の腎臓
形態	硫酸アンモニウム懸濁液。3.2 M (NH4)2SO4、10 mM NaH2PO4、10 mM シトレートの懸濁液、pH 6.0
EC番号	EC 3.2.1.51
CAS登□番号	9037-65-4
活性	> 2.0 ユニット/mg タンパク質 (ビウレット)
単位定義	1ユニットは、pH 5.5、25°Cで、1.0 μmoleのp-ニトロフェニルα-L-フコシドをp-ニトロフェノールとL-フコースに加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C